

盆栽展（寒川町盆栽会）

令和6年11月2日（土）～3日（日）寒川町民センター
盆栽の展示、整枝、整形の相談



齊藤 靖一／ピラカン・サオヒメ



阿諏訪 信夫／赤松・イワオモダカ



肥田 俊信／ロウヤ柿・リュウノヒゲ



川島 松三／黒松・万リョウ



肥田 俊信／瓜で柿・ぎぼし



宇屋野 拓／石化忍・杜松・姫無花果



石浜 太古／五葉松・タルマノコン菊・ネクトアスター



星 康二／黒松・チリメンカズラ・コマユミ・ノコンギク・ヨマユミ



石浜 太古／黒松・菊化石・カエデ



川島 松三／錦松・雪の下・ソバツル



小島 宗一／タチバナモドキ・青ツラフジ



石浜 太古／カエデ真柏・チシマラッキョ



菊地 守／真柏・ツブキ



伊熊 千恵子／黒松・マユミ・りんどう



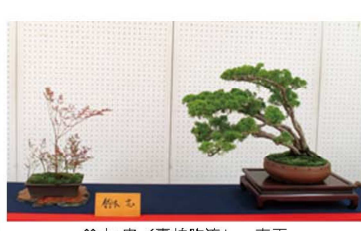
石浜 太古／五葉松・モミジ滝石



阿諏訪 信夫／赤松・モウコヒトツバ



菊地 守／ツリ花・真弓・ネジ花



鈴木 忠／真柏吹流し・南天



鈴木 忠／西洋カマツカ・吊りシノブ



肥田 俊信／ゆず・シュウメイギク



齊藤 靖一／ロウヤガキ・野紺菊

盆栽展（寒川町盆栽会）

令和6年11月2日（土）～3日（日）寒川町民センター
盆栽の展示、整枝、整形の相談



寒川茶道同好会

呈茶席 11月3日(日) 寒川町民センター

煎茶の解説を交えて楽しくいただきました。お道一つ一つに謂れや扱いがあると思いますが、楽しむことを意識されていました。



幟の請れなどお聞きました。



お茶は2回頂く。



お点前の様子



京の胡桃入りのお菓子

昔はお茶を煮だした
そうだ。



掛け軸と秋の花



ツワブキ



スタッフの皆さん

寒川茶道同好会

呈茶席 11月3日(日) 寒川町民センター

絶えずお客様が入れ替わりでお茶を楽しんでいました、初体験の方もおられましたが
良い機会に巡り合えたのではと思いました。



一枚、写真のオーダーうけました。



寒川東中学校のお二人



スタッフの皆さん



松原さん 後藤さん

菊花展（寒川町菊花会）

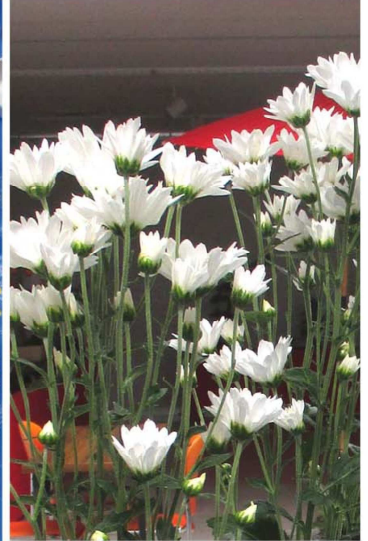
10月31日（木）～11月4日（月）寒川町民センター
小物（ダルマ、野菊など）盆養（太管～細管）、その他。



野菊



ドーム（黄）



スプレー菊



厚物 国華栄黄



厚物 春姫



記念の撮影（トラックに積込む直前）



細管



間管



野ばら文化会

2024年度「短歌」作品（令和7年1月歌集より）



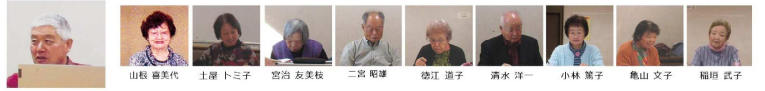
杉本 照代先生 山根 喜美代 宮治 友美恵枝 二宮 昭雄 土屋 トミ子 清水 洋一 徳江 道子 小林 篤子 亀山 文子 稲垣 武子

フラダンス八十路すぎての挑戦を運動不足認知予防に 晩秋の陽に燦々と照らされし頂きし菊咲き誇りいる 露天風呂眺むる空は茜色黒き影なす渡り鳥飛ぶ 今年又、あつと云う間に師走なり重なりし歳巻き戻したき まさか我八十路半ばを過ぎしまで続けられると思わぬテニス 誘われてテニス始めて二十年頭痛腰痛すっかり忘る 手の甲の皺は八十路の歴史かな過ぎし日々をしみじみ思う 急ぎ足ふと立ち止まる暮の道泰然自若の富士を仰ぎて 転倒の便り聞きし昨日今日明日は我が身か足踏みしめる 大晦日煮物するのに悩みつづいざ初めたら見事仕上がる 雨戸ひく令和七年初日の出穏やかなりし平和なる朝 小寒の北風が吹く梅の木に小さな雷数多みつける 嫁ぐ娘と縁側並ぶ母の背はまるきやさしく風雪しのぶ 花巻の梵 <small>カルマ</small> と名付けし宿のあり冬の夕焼け梵天祈る 爛然 <small>けいせん</small> と竹林の月吾に燦ず白頭悲し煩惱光る 初日の出あつというまに顔を出しまつあかに燃えてしやわせもらう 新年の皆元気でと乾杯し体に気をつけてがんばろうと すずめ達屋根の上よりえさめざしチュンチュンとあいさつをする 師走きて富士の頂白くなる暑さに慣れた身が引きしまる 友が逝く幼な頃より続く縁プツツとなり南無阿彌陀仏 理容店鏡にうつる自顔みて髪型問われ思案迷迷 今年も行く茅ヶ崎海岸の初日の出富士も輝き良き年祈る 義妹よりラインメールで届きはダイヤモンド富士の初日の出なり 太き枝切り落とされし蠟梅の細枝に吹ける花愛おしい 青々と澄み渡る冬空にさざ波の様な雲の流るる 気がつけば今日は早やもクリスマス賀状も書けずどこを生きてか 曾孫について抜かれし身長に嬉しい悲鳴祖母九十すぎ いとほそきほそき月浮く天空のただしんと静謐なれる 七草の朝ふる雨地に生きふる命つつみてやさしかりしよ 銀ねずの苟につつまれ辛夷芽のつんつんと大空目差す	稲垣 武子 稲垣 武子 稲垣 武子 亀山 文子 亀山 文子 小林 篤子 小林 篤子 徳江 道子 徳江 道子 徳江 道子 清水 洋一 清水 洋一 清水 洋一 土屋 トミ子 土屋 トミ子 土屋 トミ子 土屋 トミ子 二宮 昭雄 二宮 昭雄 二宮 昭雄 二宮 昭雄 宮治 友美枝 宮治 友美枝 宮治 友美枝 山根 喜美代 山根 喜美代 山根 喜美代 杉本 照代 杉本 照代 杉本 照代
---	--



野ばら文化会

2024年度「詩歌」作品 毎月1回の定例勉強会「詩」



三澤 芳彦先生

小さな旅

稲垣 武子

思い立ってバスを降りる
木漏れ日の中をゆっくり歩く
ピオトープが二か所
秋にはスズムシの賑わい
坂を上る、新緑が眩しい五月晴れ
花ざかりの木々
下に降りると小さな堀
滝の流れ
孫たちが小さい頃登った木々
大きな木
小川に沿って散策
茅ヶ崎中央公園の小さな旅

花たちの協奏曲

小林 篤子

散歩道にある家の明るい庭
カラフルな花たちが
話しかけてくる
情熱こめて語る真つ赤なバラ
陽気に話す黄色いダリア
賑やかに笑うオレンジ色のマリーゴールド
冷静に優しく揺れる紫陽花
それぞれが個性豊かに主張する
でも不思議に調和がとれ
まるで名曲を奏でているよう
ある時は勇気を
ある時は癒しを
ある時は希望を
ある時は安らぎを
はなたちがもつ愛のエネルギー
花たちの協奏曲
心地よく余韻は響く

無題

二宮 昭夫

一、八甲田残雪踏んで 足埋る
雪中行軍思いにふける
一、岩木山獅師の宿のマタギ飯
クマシカシシのジビエもグルメ
一、縄文の時代を生きた 集団の
丸山遺跡に文化を残す

葉桜

山根 喜美代

少し疲れを見せ始めた古木
幹は太たくましく
しなやかに美しく枝を広げる
海風に緑葉をさらさらと揺らし
涼しげに木陰をつくる

わが友雀達

土屋 トミ子

チュンチュン
かわいい雀達
窓越しに見入って
毎朝仏様の前日のごはんを
水でほぐし庭にまく
家の中にはいるやいなや
飛んできて
あつというまに食べ尽くす
またよろしくねと
言わんばかりに飛び去る雀達
その元氣な姿に癒される
とても可愛い
わが友雀達

ダリア

亀山 文子

両手の平を合わせたくらい
大きく真つ赤な
ダリア
何の香りもないけれど
親指と人差し指を
合わせたくらいの花びら
この花びらが七十枚重なり合って
美しさが際立つ
ダリア
数年前に
「ダリアが好き」と
言った私の言葉を思い出して
特別に手に入れたとか
花屋さんに感謝感謝
夫の介護で心が疲れた時
真つ赤なダリアを眺めると
ほっとする
心が安らぐ真つ赤なダリア

トビシマカンゾウ

徳江 道子

ふと新聞に目がとまる
鮮やかな黄色の花
「トビシマカンゾウ」
初めて知る花と名前
遠い佐渡島に自生群落しているとか・・・
草原の中に一面黄色が見事
チャンスがあつたら是非見たい
ちよっと見
尾瀬夢科で見た「ニッコウキスゲ」
どちらか一面の群集で一日花
コクナ禍で約三年封印され
最近は見るとの聞くもの興味津々
時は待つてくれない
いろいろの所へ出掛けたい
令和四年初夏

新茶

宮治 友美枝

毎年四月末日 静岡の弟から
川根産の新茶が届く
子供の頃から飲み慣れた味
楽しみにしている

切符

清水 洋一

人は地固なき荒野を歩く
自由勝手のようにだが
枠に填っている
幾多の行く先に狼狽える
歩いて来た道の跡
戻れない道だけをみている
その度々に勇気と決断
不安と未練に噴まれる
歩みつづけ
時に立ち止まり身を癒す
来し方を振り返り
生き様を反芻す
握っている切符は
通過する駅の数々に
気付いてはくれない
喜怒哀楽の悲喜交々の道のり
今はすべて美しく夢の夢

小石川植物園

三澤 芳彦

小石川植物園を訪ねた
江戸時代中期 享保の改革
江戸への人口の流入の加速
幕府の都市行政の柱
没落した困窮者の救済
防火体制の整備
風俗取り締まり
目安箱への歎願を受け
吉宗の命により
小石川療養所開設
黒澤明の「赤ひげ」から受ける
市井の町医者イメージ
入った瞬間あまりの広さに唾然
五万坪に及ぶ広大な土地
台地 傾斜地 低地 泉水地
三百年の歴史は伊達ではない
根廻5メートル以上の楠や椎
明治以降は東京大学の研究施設
巨木の間に在来外来の標本期木が並ぶ
旧大名系の庭園とは違い
雑草も茂る自然な姿がいい
都会にオアシス発見

寒川町芸能舞踊会 第44回寒川町芸能舞踊会「浴衣ざらい」

6月8日(日) 寒川町民センターホール

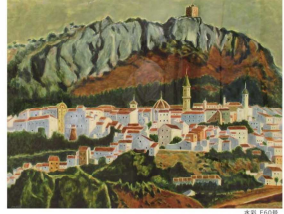


演目	出演者	衣装	備考
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50



48
寒川美術協会 第55回寒川美術協会展
 6月15日(土)～22日(土) 寒川町民センター

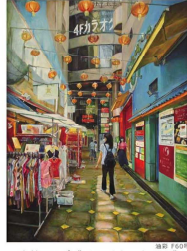
絵画・陶芸



飯尾 博美《白い雪並み (スペインアンダルシア)》 高さ 150cm



大貫 達雄《白原と太陽》 高さ 100cm



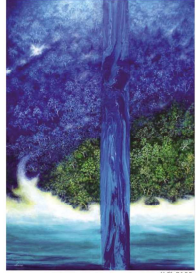
志 穂 ロバ《チャイナスクエア》 高さ 100cm



元田 太《舞いドレスの女性》 高さ 90cm



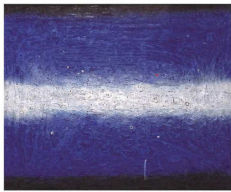
元田 太《アトリエの女性-スケッチ》 高さ 110cm



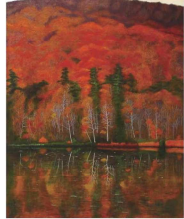
村松 弘昭《命の線》 高さ 100cm



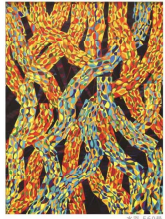
黒藤 淳子《のりこは今》 高さ 80cm



八幡 一郎《薔苳》 高さ 100cm



米丸 忠雄《静寂 (八幡平大沼)》 高さ 100cm



鈴木 俊夫《ざわめき-Ⅲ》 高さ 100cm



三留 雅子《水辺》 高さ 80cm



田中 博子《フラメンコ》 高さ 120cm



横田 敬《ソボ》 高さ 28×28×27.5



秋澤 聖好《火球》 高さ 30×30×30



小林 正光《水》 高さ 21×17×7.5



秋澤 聖好《風景画》 高さ 30×30



小林 正光《フックのある花瓶》 高さ 18.8×29.2×17.3

絵画・彫刻・陶芸(陶板)



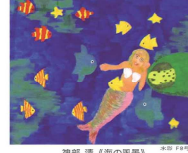
山口 政巳《お楽神のダイヤモンド画士》 高さ 34×45



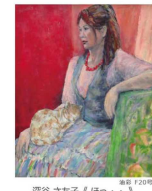
山口 政巳《神聖の公園》 高さ 45×53



寺崎 三作《妻への回想》 高さ 30×30



神部 清《海の風景》 高さ 100cm



深谷 さち子《ほっ・っ》 高さ 120cm



藤吹 功治《會津さざえ堂》 高さ 100cm



藤吹 功治《天竺閣 (猪苗代町)》 高さ 100cm



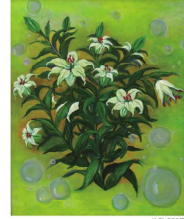
上林 俊行《駅》 高さ 100cm



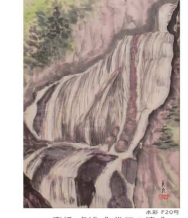
深谷 さち子《白猫》 高さ 115cm



柘植 勝《ラッパを吹く男》 高さ 120×75×70



吉留 美智子《夏の青》 高さ 75cm



高橋 貞雄《袋田の鬼》 高さ 70cm



安藤 榮治《春の訪れ》 高さ 110cm



神部 清《体操スタート》 高さ 100cm



藤本 友代《虹に咲くシャーマニアリス》 高さ 100cm



藤本 友代《虹に咲くシャーマニアリス》 高さ 100cm



上林 俊行《桜の季節》 高さ 120cm



八幡 一郎《紅の杜》 高さ 100cm



安藤 榮治《寒川神社新施「石橋」の彫像》 高さ 100cm

節目となる、55回目の協会展を開催できました、規模は縮小気味乍ら充実感、完成度の高い作品を以って評価の高い発表会となりました。会員・会友・選拔出品者各位の協力を頂いてのことと感謝致します。

会期直前に中島豊二さん、八ヶ代伸一さんが急逝、心より哀悼の意を表すると共に、ご冥福をお祈りいたします。

出品作品は、80号～120号の絵画作品群や複数出品、また選拔出品の方々も、かなりの熱量で制作に取り組んで頂いたという情報も一部耳にし、我々にとって嬉しい限りのことでした。総会では、新監査役に吉留美智子さんが委員と兼務で決議されました。

また、その他課題として、運営費の減少の問題が指摘され、今後の対策方針の変更等、意見集約の必要性が取り沙汰されました。

秋の「文化祭美術展」は会期
 10月8日(火)～13日(日)。



撤収前の記念撮影

春の盆栽展（寒川町盆栽会）

4月27日（土）～28日（日）寒川町民センター
盆栽の展示、整枝、整形の相談・実演、チャリティコーナー。



川島 松三ノツキ（明美の丹）・ツメレンゴ
菊地 守ノ黒松（石石性）・ギボシ
鈴木 政江ノ五葉松・イタドリ



三澤 霧ノカリン・みせばな



宮下 洋ノさつき（珍山）・イタドリ



三澤 霧ノかえで・ギボシ



齊藤 精一ノ五葉松（九重）・ギボシ



平野 拓ノ赤松・董・林檎



阿津訪 信夫ノ赤松・イワオモダカ



石浜 太古ノサンザシ・モミジ・ツメレンゴ



齊藤 精一ノ五葉松・ツタ



石浜 太古ノ黒松・カエデ・草



小島 宗一ノいわしで・紅葉
緋木・かばしで・小まゆみ



阿津訪 信夫ノ五葉松・イワオモダカ



肥田 俊信ノヒツバタゴ・エニシダ



石浜 太古ノ黒松・カエデ・草



会場（展示1室）



肥田 俊信ノミヤマカエデ・ギボシ



日尾 政善ノ銀杏・スイナ



伊藤 千恵子ノ黒松・りんご・すみれ



鈴木 岩ノ黒松・福寿草奇せ挿え



岸 貞夫ノ黒松・マキモナ草



相談コーナー（展示2室）